

ExcelのCSV区切り記号と見積書の問題の解決

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[メモ帳とExcelを使用してCSVファイルを手動で修正する](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、CX Cloudのシードファイルテンプレートの操作中にヨーロッパの設定によって発生するCSV形式の問題に対処する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Officeの生産性向上スイート（Microsoft Excelなど）におけるロケールに基づく書式の違いの理解
- CSV（カンマ区切り値）ファイル構造と区切り文字に精通していること
- メモ帳または同等のテキストエディタを使用した基本的なテキスト編集スキル
- Excelメニューのナビゲート、テキストから列へのデータのインポート機能の使用

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- ヨーロッパ地域の設定を使用したMicrosoft Excel（ロケールでは、デフォルトのCSV区切り文字としてセミコロンが使用され、10進数の記号としてカンマが使用されます）
- 標準テキストエディタ（Windows OSのメモ帳など）

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

Microsoft Excelやその他のOfficeスイートアプリケーションでは、CSVファイルのデフォルトの区切り文字として、北米やその他の多くの地域で標準となっているカンマ(,)ではなく、セミコロン(;)を使用する国もあります。この違いは、小数点の区切り文字としてカンマが使用され、CSV内のフィールドを区切るためにセミコロンが使用される、ロケール固有の設定によるものです。

CSVファイルを編集してヨーロッパ言語のロケール設定でExcelに保存した場合、結果のファイルにはフィールド区切り文字としてカンマではなくセミコロンが含まれ、不要な引用符(「」)も含まれるため、カンマ区切りのCSVファイルが必要なシステムにファイルをインポートする際に、互換性の問題が発生する可能性があります。これらの問題は、シードファイルテンプレートを使用する場合や、地域の設定が異なるシステム間でデータをインポート/エクスポートする場合によく発生します。

問題

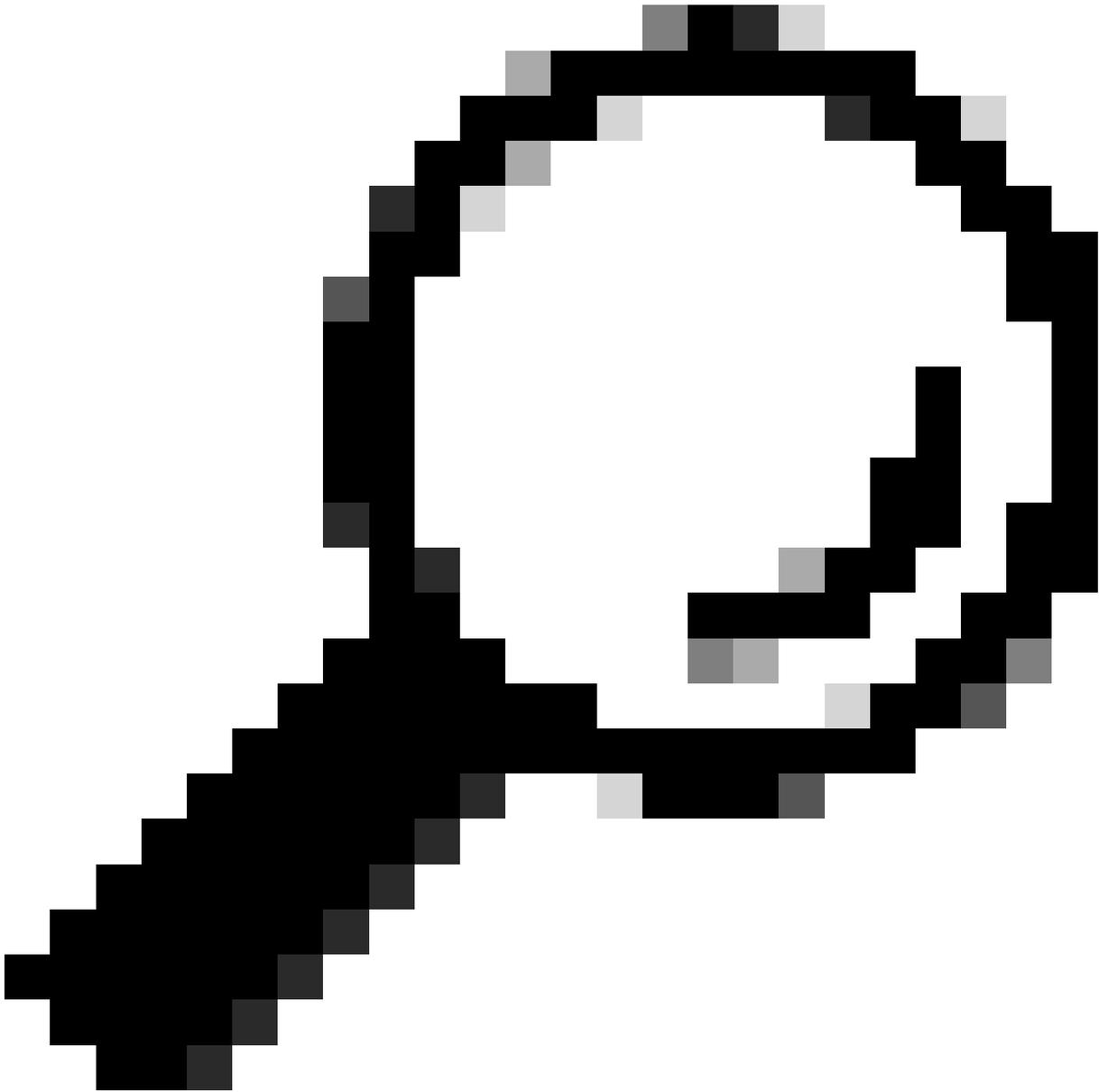
ヨーロッパ形式で設定されたオフィススイートを使用すると、CSVファイルの編集および保存時に問題が発生します。

- Excelから保存されたCSVファイルには、カンマ(,)ではなく、フィールド区切り文字としてセミコロン(;)が含まれています。
- フィールドまたは値の前後には、追加の引用符(「」)が付いています。
- この構成でExcelインスタンスからエクスポートされたCSVファイルは、カンマ区切りのファイルが必要なシステムと互換性がないため、データのインポートが不適切になったり、エラーが発生したりします。
- これらのCSVファイルをCX Cloudのシードファイルとして使用しようとする、デリミタが正しくないと、データの取り込みや自動化が正しく行われなことがある場合があります。

このような問題は通常、ヨーロッパ言語の書式で構成されたバージョンのExcelで既定の設定を使用してCSVファイルを編集またはエクスポートした後に発生し、シードファイルに互換性がなく、手動での修正または再構成が必要になります。

解決方法

Excelのヨーロッパのロケール設定が原因で発生するCSV区切り文字と引用符の問題を解決する方法があります。手順の詳細を次に示します。



ヒント: ExcelファイルをCSV形式で保存するときに、区切り文字を変更できます。File > Options > Advanced > Editing options > Use system separatorsの順に選択します。この変更は、すべてのCSVファイルの形式に影響を与えることに注意してください。

メモ帳とExcelを使用してCSVファイルを手動で修正する

CSVファイルを手動で編集して、互換性を確保できます。

注：ファイル内の必要な文字を置き換える限り、任意のプレーンテキストエディタを使用できます。この例ではNotepadを使用します。

1：メモ帳でCSVファイルを開きます。

CSVファイルを右クリックし、Open with > Notepadの順に選択します。

2：新しいExcelブックを開きます。

Excelを起動し、新しい空白のブックを作成します。

3: CSVファイルの内容をExcelにコピーします。

3.1.メモ帳(Ctrl+A、Ctrl+C)ですべてのコンテンツを選択します。

3.2.新しいExcelブックのセルA1に内容を貼り付けます。

4: 「列にテキスト」を使用して、データをカンマで区切ります。

4.1.セルA1をクリックして選択します。

4.2. Dataタブに移動します。

4.3. 「列にテキスト」を選択します。

4.4. Delimitedを選択し、Nextをクリックする。

4.5.デリミタとしてカンマを選択します。

4.6.ウィザードを完了して、CSVデータを列に解析します。

5: .csvファイルとして保存します。

5.1. File > Save Asの順にクリックします。

5.2.ファイルタイプとしてCSV (Comma delimited) (*.csv)を選択します。

5.3.元のファイルを保存したい場合は、新しい名前でファイルを保存します。

6：保存したCSVをメモ帳で再度開きます。

6.1.新しく保存したCSVファイルを右クリックします。

6.2.メモ帳で開きます。

7：すべての引用符を削除し、区切り記号を調整します。

7.1.メモ帳で、検索と置換(Ctrl+H)を使用します。

7.2.検索：「.

7.3.置換後の文字列：[空白のままにします]

7.4. Replace Allをクリックして、すべての引用符を削除します。

7.5.検索：;

7.6.置換後の文字列：,

7.7. 「すべて置換」をクリックして、すべてのセミコロンをカンマに変更します。

7.8. Find Nextコマンドと手動による置き換えを使用して、ファイル内の最初のカンマ(,)をセミコロン(;)で置き換えます。

8：修正したファイルを保存します。

8.1.メモ帳でファイルを保存し、誤ったCSVを上書きします。

8.2.作業が完了したら、修正ファイルをCX Cloudのシードファイルとして使用することが適切です。

関連情報

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)
- [CX Cloudでサポートケースをオープンする](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。